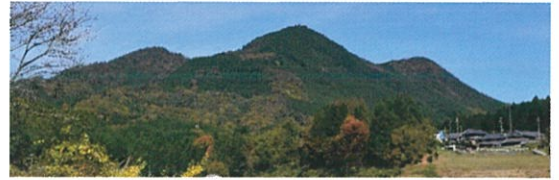


東榛原まち協だより



・発行：東榛原まちづくり協議会

総務・企画部：宇陀市榛原天満台西 4-19-10

☎090-3825-1237

年頭に寄せて

東榛原まちづくり協議会 会長 新 禎夫



令和4年壬寅の新年を迎え、皆さまのご多幸とご安寧をお慶び申し上げます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

2年続きのコロナ禍もようやくにして出口らしき様相を感じ始めた矢先、オミクロン株の出現で心身ともに疲弊したまま新年を迎えられた方も多かろうと存じます。

しかしながら、「一花開天下春」の言葉があります。この厳冬期にあっても地中では草木の根が成長し、やがて新芽が顔をのぞかせ一輪ごとに花を咲かせる春が近づいてきます。

とは言え、私達を取り巻く現実の社会は自然災害や少子高齢化と人口減少、教育、医療、等、喫緊の課題が山積しているのも周知の通りで、就中、東榛原地区においては顕著な状況にあります。

折りしも、東榛原まちづくり協議会（以下、まち協）は本年、設立10年目を迎えます。お陰さまで、歴代の役員・運営委員の不断のご尽力もさることながら、住民皆さまの絶大なご協力の賜物と衷心より御礼申し上げます。

まち協は、各自治会をはじめ幾つもの団体や組織が結集して一つの輪を形成し成り立っています。従って、全住民の親睦を図ることを主目的に、従来は各種イベントを通じ一定の成果を収めてきました。

初期の目的は概ね達成しつつあることから、今後は従来の活動に加え、まち協本来の目的即ち「住んで良かったと実感できる活力あふれる東榛原の創造」を目指します。つまり、「自分達の地域は自分達でつくる」の考えで、住みよい地域の実現に向け宇陀市と共同してあるべき方向性の模索に取り組みます。

まず防災対策については、従前より重点課題と捉え、令和元年度策定した中期事業計画をスタートし、昨年度防火水槽の埋設（2箇所）と可搬式消防ポンプ（3台）を配備しました。今後は防火水槽の補完施設として天満川からの水源整備を進める一方、定期的な訓練など、ハード・ソフト両面での拡充を図ります。

次に地域内には、複数の市所有の遊休地があります。その多くが有効利用されず放置されたままになっており、環境面、治安面、交通や生活の利便性を損なっているケースが多々あります。これらの遊休地は夫々位置状況も周囲環境も異なるものの、東榛原が宇陀市のユートピアになる様な夢のある活性化案を市に提案していきます。

太古の昔、大和王権を支えたとされる“宇陀”にあって、その繁栄の最先端にあったのが私達の住む東榛原（諸説ある）と言われています。誇るべき歴史と素晴らしい自然環境に育まれた当地域の将来を担う子供達のため、未来永劫活力あり続けられる様粉骨砕身努めてまいりますので、より一層ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



十八神社から観る初日の出

【令和4年度上期の行事・催事予定】・・・抜粋

4月10日（日）	桜まつり	（榛原ふれあい広場）
24日（日）	定期総会	（天満台西公民館）
5月15日（日）	全体会議	（天満台東交流センター）
29日（日）	防災訓練	（未定）
8月6日（土）	夏まつり	（大和富士ホール前広場）

*上記日程は変更されることがあります

金剛宇陀市長と「まちかどトーク」開催



去る11月17日(水)、天満台西公民館において金剛宇陀市長(市の関連幹部含む)と新会長はじめ少数のまち協幹部役員が出席し、コロナ渦中にあることには万全の対策をした上で、2年目に入った金剛市政の現況と政治スタンスについて意見交換を行いました。

テーマを①美榛苑のあり方 ②榛原第2小学校跡地活用 ③市の総合計画の3点にポイントを絞り、有意義な話し合いを行うことが出来ました。

冒頭、「新会長より、東榛原一番の観光資源である美榛苑を今後どうしていくのか? また過去幾度と

なく指摘してきた榛原第2小学校の跡地問題、つまり永年何ら有効利用されず放置状態にあることは極めて憂慮すべきことと認識しているが?」との質問を行いました。

これに対して市側は、①については、民間の活力を導入しないと円滑に進まないとの考えの下、今年企画誘致推進室を立ち上げた。この部署を中心に外部業者の経営資源を活用しながら美榛苑を運営していく。ホテル建設予定であった土地(ひのき坂・小鹿台間)は、県との「まちづくり連携協定」の中で、市の総合計画の一環である健康ゾーンに包含していく。併せて宿泊施設の誘致やその他の企業誘致も行っていく。

②については、進出意欲を示してくれた業者もあったが折り合いがつかなかった。引続き努力していくが情報の提供もお願いしたい。

③については、これは宇陀市の向こう4年間の計画である。既に基本構想があり、それに市長の思いを折り込んだものを現在作成中で、今年度中に作成完了の予定。

また、まち協出席者から、「宇陀市の動静が一般市民には分かりにくい。市民は結果は勿論だがプロセスを知りたいのである。それに応えるのが市の広報使命だと考える。」との指摘が出された。

最後に金剛市長は、「この地域をどの様なデザインにしていくか、地域の住民はどの様なビジョンを描いているのか、常にまち協と情報を共有し話し合い、一緒に考えることが大切だと思う」と結ばれました。

可搬式消防ポンプの点検実施!!

12月上旬、宇陀市から貸与されている可搬式消防ポンプの点検を相次いで3台実施しました。この消防ポンプについては、前号で詳しくお知らせしましたが、将来起こり得る大地震に伴う身近な火災に備えるには、この消防ポンプを常に万全の状態に保っておかねばなりません。

今回防災部会では、ポンプの作動点検に加え、市の危機管理



課のご協力を頂き、機器の取扱い手順と点検項目など、誰にでも理解しやすいオリジナルマニュアルを作成しました。これを基に、今後毎月防

災部会員・消火隊員により点検実施されます。

これを基に、今後毎月防

奈良県自治連合会表彰!!

永年に亘り地元自治連合会の会長として、住民の福祉向上はもとより組織の発展と県並びに市政運営に尽力された功績により、この程山辺三にお住まいで現まち協会長の新禎夫さんが受章されました。



表彰式は11月29日、奈良市高畑町の奈良ホテルで行われ、荒井奈良県知事のほか関係者

多数の出席のもと、コロナ対策の中終始和やかに行われました。